

[2023 - 2024]

ANNUAL REPORT

 ホールマウス自然学校



豊かな「自然語」があふれる未来に向けて



Our Vision

私たちホールアース自然学校は
1人ひとりが「人・自然・地域の共生する暮らし」の実践を通じて、
感謝の気持ちと誇りを持って生きている社会を目指しています。

ー 2023 年度の活動実績 ー

学校向け教育旅行プログラムや企業のCSR活動の支援など、
2023年度も企業・行政・学校・NPO・市民など様々なセクターと活動を展開し、5県8拠点で協働の渦を生み出しました。

TRACK RECORD

教育旅行 プログラム



354団体

35,153名

自主事業



231回

11,133名

企業研修



24回

772名

インタープリター 育成



約 360 名

コンサルタント 業務



20 件

topics

2023-2024

TOPIC 01

NTTドコモが開発したリアルな森と連動して
生物多様性を守るアプリ「もりまもり」を監修



株式会社NTTドコモが開発した、web3.0を活用したアプリ「もりまもり」の監修をホールアース自然学校が担当しました。アプリでは、落ち葉掻き等の環境整備を継続的に行うことで希少生物が出現します。これに合わせて専用のNFTが発行され、その価値に応じてドコモの森への植樹に還元されるという仕組みです。自然の複雑さをデジタルのアルゴリズムの中でどう表現するかに苦勞しましたが、開発側の技術力やコラムでの補足により、自然に近い状況を再現することができました。

TOPIC 02

NPO法人ホールアース自然学校として、
柏崎・夢の森公園の指定管理がスタート



2007年に開園した柏崎・夢の森公園（新潟県柏崎市）。ホールアース自然学校は開園前の計画段階からこの事業に関わり、2015年からは株式会社として、そしてホールアースグループの法人統合に伴い、2023年からNPO法人ホールアース自然学校として柏崎・夢の森公園の指定管理が始まりました。これまで同様、ホールアースの組織力とネットワークを活かした挑戦を続け、持続可能な地域づくりに貢献していきます。

TOPIC 03

高尾山での自然体験型研修が好評



昨年までの自粛ムードから一転し、今年度は12社、500名以上の企業の方々に研修を提供しました。特に東京・高尾山でのスポーツチームビルディング研修が好評で、アクセスの良さと自然環境が人気の理由です。参加者からは「研修ではあるものの、楽しく前向きに取り組めた」との声が多く寄せられました。また、新たに加わった「茶畑で地域問題を考えるワーク」という研修メニューも高い評価をいただいています。

TOPIC 04

環境教育等促進法基本方針見直しのための
検討会に出席



環境教育等促進法に基づく基本方針を見直す作業は、5年に1度程度のタイミングで実施されていますが、2023年度がその年となりました。そのための専門家会議が環境省により開催され、代表理事の山崎が委員として出席しました。前回改定からの社会の変化等を確認しながら、他の委員らとともに全6回の会議を重ね、改定案を作成しました。

1

@ SHIZUOKA
富士山本校

里山のようちえん

隔月開催(偶数月) 各回1泊2日

年間を通して、親子で里山の自然・森・暮らしを体験する食育プログラム

いつも食卓に並ぶお料理。野菜、お米やお肉はどこからやってくるんでしょう？都市と里山の役割がわかれてしまっている現代。食材の本来の姿を目にすることは少なくなってきています。米も野菜も肉も、太陽や大地、水といった、自然が育む大切な「いのち」であり、私たちの命は、たくさんの野菜や動物の命で支えられています。富士の麓の里山で、親子一緒に自然に触れ、自然とのつながりを学ぶ年間プログラムです。

参加者アンケート

(参加者の保護者より) 一部抜粋

帰宅後、息子からホールアースでの楽しかった話を沢山聞きました。里山ようちえんから帰った後は、いつも以上に生き生きとしているように思います。特に昨年は受験もあり、親子共に疲弊していたので、里山ようちえんでの一時は自然に還ることができ、癒される時間でした。

(参加者からのメール)

先週末はとても温かな時間をありがとうございました。いつか子どもたちを連れていきたいと思っており念願の参加でした。子どもたちが(親も！)やりたいことに夢になれる時間がたくさんあって、充実した二日間でした。



DATA

- 6回実施 計12日
- 参加者数 158人(延べ316人)

2

@ SHIZUOKA
富士山本校

森林空間活用支援事業

2023年8月～2024年3月

森林を使ってほしい所有者と森林を活用したい事業者のマッチング事業

森林の持続的な活用について、林業以外の事業について、その可能性を探ることが求められています。しかし、「森林」には所有者があり、市街地とは異なる法令が関わっているという点、また、アクセスや斜面、構成樹種によって、活用可能性に大きな幅が生じる点など、様々な特性があります。本事業では、森林所有者と森林を活用したい事業者をマッチングさせ、両者の思いや前提条件などを調整したうえで、専門家派遣などの仕組みも組み込みながら、事業化に向けた支援を進めました。

参加者アンケート

(セミナー参加者より)

事業化についてのお話が、とても励みになりました。様々な人に出会うこと、やりたいという思いを周囲に伝えていくことが大切だという点が心に残りました。豊かな森がある土地に住んでいることを活かして、森に関わる人が増える事業を組み立てていきたいと思いました。

(マッチングした事業者より)

所有者さんとのやり取りのみならず、専門家のアドバイスを受ける仕組みにも助けられ、何とか事業化に向けて動き出すことができています。県がサポートしてくれる安心感が大きかったです。



DATA

- 森林活用セミナー参加者：約60名
- 事業化に向けたマッチング数：9件

3

@ NIIGATA
柏崎・夢の森公園

カキツバタまつり

2023年5月14日(日)～31日(水)

地域の企業・団体と連携し、経済効果を生む観光イベントに育てていく

5月中旬に紫色の花を咲かせるカキツバタ。2023年はこの自然資源を活かしたカキツバタまつりをより戦略的に育てていくためのアンケートを大々的に実施。来園するターゲットを意識し、地域の菓子店とおみやげを共同開発したり、大型こいのぼり展示とのコラボや来園者の市内飲食店への誘導、市民ボランティアによる地道な株分け作業など、地域の様々な企業・団体をコーディネートしながら、地域に経済効果を生む新たな観光イベントを育てる取り組みを継続的にを行っています。

参加者アンケート

(休憩スペースがもう少しあったほうがよい)

➡ 2024年、無料休憩所を大きく広げ市内飲食店を紹介。回答者の88%が「カキツバタまつりを目的」に来柏と答えており、飲食店等の立寄所に経済効果をもたらしていると言える。

(長岡の人は知らない人が多いので、友人に案内したい)

➡ アンケート回答者の約半数が柏崎市外からの来園者であることから、カキツバタを楽しむおでかけスポットとして市外からの認知が進んでいると考えられる。今後、それぞれの市町村からの来園者数を意識することで、効果的な広報につなげていく。



DATA

- 来園者数：16,749人
- アンケート回収数627件、内有効回答数623件、有効回答率99.4%
- イベント満足度：93%(期待通り・期待以上)

4

@ SHIZUOKA
田貫湖ふれあい自然塾

たぬきっこ森のようちえん

2023年5月20日(土)・21日(日)、6月24日(土)・25日(日)、
8月26日(土)・27日(日)、11月25日(土)・26日(日)自然の中には不思議がいっぱい
親子で一緒に五感を使って自然を味わおう

幼児期(2～6歳)は「人格形成期」と呼ばれる大切な時期とされています。自然の中で子どもと一緒に過ごす時に大人が大切にしたいことは『子どもの気持ちに寄り添うこと』。子どもの「なぜ?」「どうして?」という小さな疑問や「できた!」という声に耳を傾け、一緒に考えたり、喜んだりすることは子どもにとってかけがえのない時間となります。季節に応じた四季折々の自然を親子でたくさん体験しました。

参加者アンケート

(参加した幼児の保護者)

自分たちの身近にある自然に目を向けて、楽しむことができて良かった。自然遊びってどんなことをすればいいんだろうと少しハードルを高く感じていましたが、教えてもらったことを思い出しながら家の近くの公園や出かけ先で子どもと一緒に自然遊びするのが楽しみになりました。

(参加した幼児の保護者より)

子どもが何かに集中したり、初めて会う友だちとすぐに仲良くなった姿など家では見ることができない子どもの姿をみることで、成長をすごく感じました。また子どもが楽しめただけでなく、親もリフレッシュすることができました。他の活動も参加してみたいです♪



DATA

- 年8回実施 合計50組107名参加
- 「大変満足」92% 「満足」8%



@ OKINAWA

がじゅまる自然学校

座間味村サンゴの環境授業

2024年3月5日

サンゴを知り、 座間味ならではの環境を考える

株式会社NTTドコモが沖縄科学技術大学院大学 (OIST) とともに進めるサンゴの研究成果を中心に、サンゴで有名な慶良間諸島座間味村の小学生に対する出張授業を実施しました。座間味村のビーチを教室とし、そこでサンゴクイズやサンゴの生態を学ぶ授業、水中ドローンの実演、環境DNA調査実習、サンゴの苗づくり体験を行いました。がじゅまる自然学校は、授業内容の構築や、当日の全体進行を担いました。

参加者アンケート

- (参加してくれた講師)
- 沖縄の子ともたちはサンゴの大切さをあまりわかっていないのだが、今回大切さを理解してくれたと思う。
- (参加してくれた児童)
- 初めてサンゴのことをしっかり学べたり苗づくりができてよかった。



DATA

- 地元の小学生19名が参加



@ FUKUSHIMA

福島校

旅するようちえん (日産スマイルサポート基金助成事業)

2023年4月～10月 ※助成期間は2022年12月～2023年12月

未就学児でも安心して自然の中へ ふくしまの四季をめぐる新しい学びの旅

「旅するようちえん」は、子どもとその保護者が主体的に体験を創り出し、自然の中へも安心して出かけていく状態を目指す、未就学児向けの年間プログラムです。2023年度より日産スマイルサポート基金の助成を受けスタートしました。現役の幼稚園教諭と共に運営を担い、県内数カ所を会場として、季節に応じた自然体験活動を実施しました。

参加者アンケート

- (参加してくれた保護者)
- とてもいい時間をありがとうございました。娘も心から楽しんでたようで、本当にありがたかったです。最後の回で子ども同士の関わりが増えたのが嬉しかったです。子ども同士の関わりを深められると、本人にとっても保護者にとっても、より良い時間になると思いました。
- (参加してくれた子ども)
- 息子は「旅するようちえん」への参加がとても楽しかったようで、もっと遊びたかった、また行きたいと言っています。主催者さんたちのゆったりとした雰囲気も安心感があって良かったです。また参加させて頂きます。



DATA

- 年6回 合計19組 67名参加
- 「とてもたのしかった」80%、「たのしかった」20%
- プログラム参加後に「たのしくなった」、「自然に興味を持った」という回答多数



@ GIFU

モリノス

令和5年度森林総合教育センタープログラム実施等業務委託

2023年4月～2024年3月

保育・教育現場に森の体験を出前 「morino de van (森の出番)」が岐阜各地へ！

森の出番プロジェクトで寄贈された「ヴァルトカー」を活用し、森に行かなくても森や自然を体験できるプログラムを提供。端材や自然素材を使った自由な工作、火起こし体験、竹林整備体験などを、岐阜県内9施設に出向いて実施しました。事前に先生方と打ち合わせを行い、実施後は自分たちだけでも実施できるよう、やり方のヒントを提供するのが目的の1つ。やってみせることで、保育・教育現場と森をつなぐ活動を広げています。

参加者アンケート

- (小学校校長) 子どもたちに自由な発想を持たせるような木工体験ができるのか、正直イメージができなかったが、子どもたちがどんどん発想を広げて夢中にやっている様子を見て、なるほどと思いました。周りの大人があまり口や手を出さず、しっかり見守ることが大切ですね。
- (小学校教頭) スタッフの皆さんと子どもたちの発想力に驚きました。近くに森がないと思っていましたが、こんな形で遊ぶことができるんですね。



DATA

- 9団体 (こども園1、保育園1、幼稚園2、小学校3、特別支援学校1、民間フリースクール1) のべ312名に体験を提供した。



@ SHIZUOKA

富士市立少年自然の家

富士市教育委員会指定事業 令和5年度 丸火☆星座教室

2024年2月3日(土)～4日(日)

天体について学び、体験する2日間 市内小学生向け社会教育事業

富士市内小学4～6年生を対象に、毎年実施している宿泊型事業。屋上の天体望遠鏡を利用した星空観察を行う事を軸に、天体に関する知識を増やす活動や、天体をテーマにした野外活動(アドベンチャーラリー)を行いました。星や宇宙に関する興味関心を高めると同時に、自然を大切に思う心を育てることを目指しています。スタッフは、現役の小学校教員、社会人リーダー、星空案内人(ボランティア)等も関わるスタイルで実施しています。

参加者アンケート

- (参加した小学生)
- 天体観察が楽しかったです。星だけでなく富士市の夜景も見られたので、すごく感動しました。勉強になったし、星座をもっと好きになりました。アドベンチャーラリーも、自然いっぱいだし、皆で考えたりするのが楽しかったです。
- (参加した保護者)
- 知らない事をたくさん学べました。みんなで星座探しをしたのが楽しかったです。星座の話の後に、夜の星座観察だったから探しやすいかったです。冬の天の三角の見つけ方を覚えしました。自分で星座を見つけることができてうれしかったです。木星も見れました。



DATA

- 定員50名に対して、72名の応募があった。
- アンケートの満足度結果は、94.3%



企業・行政・団体等との連携事例 [2023-2024]

ホールアース自然学校では、企業・行政・NPO・市民等、様々なセクターと連携することで、多様な事業を実施してきました。そんな中でも特徴的な連携事例をご紹介します。

企業・行政・団体のニーズ例



- ▶ 環境の専門的知見から事業を見直したい
- ▶ CSVを見据えた発展的なCSRを実現したい
- ▶ 社会貢献に資する事業に社員をもっと参画させたい
- ▶ SDGsに基づいて自社事業の設計と促進をしたい

私たちができること



企画提案段階

- ▶ 事業相談
- ▶ 検討会議への参加
- ▶ 業界リサーチ
- ▶ 事業提案 等

企画実施段階

- ▶ 事業連携
- ▶ 事業実施
- ▶ 専門家の派遣
- ▶ 事務局運営
- ▶ コンサルティング
- ▶ コーディネート
- ▶ 事業パートナー紹介

case 1

自然の中で、個性を輝かせよう！

発達障がい児向け自然体験プログラム事業

寄付・協働：公益社団法人日本環境教育フォーラム



依頼内容

JEEFでは「誰ひとり取り残さない環境教育」をテーマに、ひとり親世帯、生活困窮世帯の子どもたち、障がいをもつ子どもたちも参加できる自然体験活動・社会体験活動を推進している。今回の活動をモデルケースとして全国的な横展開についても期待している。

協働内容

協働事業としてJEEFから寄付金の支援をいただき、9月～3月にかけて3回の自然体験プログラムを実施。また、JEEF職員の方にもボランティアとしてご参加いただき関わっていただいた。

主な成果

子どもたち・保護者が自分たちのペースでのびのびと参加してくれていることを実感。親子のコミュニケーションの場としても有効に働いている。

case 2

持続可能な地域づくりの為の、地域内人材ネットワークづくり

西蒲区ネットワーク事業

委託元：新潟市



依頼内容

地域内人材ネットワークが構築されるまでの、プロセスのコーディネート、地域の人材が集い、繋がり、交流を生むための企画立案や実施を行うこと。

協働内容

新潟市及び新潟市市民活動支援センターと共に、企画の軸について議論を行い、地域の人材が集う交流会及びアイデアピッチを行うプレスト会の企画＆運営を行い、オープンチャットを活用した交流促進を行った。

主な成果

交流会やプレスト会、またオープンチャットにおける交流を通して、人材の交流が生まれ、新たな取り組みの支援を行うことができた。

case 3

静岡県内の小学5年生に森林・林業の役割を伝える

森林ESD出前授業

委託元：公益財団法人静岡県グリーンバンク



依頼内容

森林環境譲与税を活用した森林・林業の普及啓発を、小学校5年生の社会科の単元に合わせた出前授業形式で実施する。その際、林業関係者とインタープリターがセットで対応することとする。

協働内容

静岡県グリーンバンク担当者と共に、市町の教育委員会や森林担当部署へ働きかけると同時に、県内の林業関係者や自然ガイド等に対し派遣に向けた研修を実施。また、イラストレーターと連携して教材を開発した。

主な成果

県内12校、約500名の児童に対して出前授業を実施した。先生からのアンケートでは概ね高い評価を得ている。次年度も継続予定。

case 5

”何もしないが最高の何かにつながる”

静の湖南プログラム造成事業

委託元：郡山市（観光政策課）

依頼内容

観光地としては後発な郡山市にあって、県内有数の景勝地である猪苗代湖を有する湖南町の環境を活かし、自然にも人にも魅力的なプログラムを造成してほしい。

協働内容

湖南町の自然や立地特性と、利用者の属性、さらに市側の意図する観光の在り方を踏まえ、近隣他地域と差別化するためのコンセプトと一緒に考え、共同で試行プログラム＆参加者を招いてのプレツアーを行った。

case 4

工場に隣接する小さな森で、自然を育み、心を育む

日本プラスト はぐくみの森

委託元：日本プラスト株式会社



依頼内容

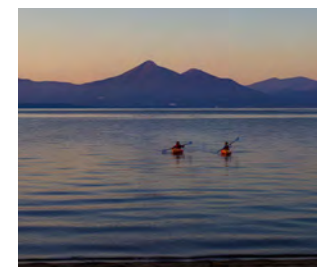
工場の横に広がる市所有の緑地（約1ヘクタール）を活用し、地域住民や社員家族等を対象にした自然体験プログラムを企画・実施。季節に合わせた企画を年数回開催する。

協働内容

静岡県環境ふれあい課が進める「しずおか未来の森サポーター」制度の一環として位置づけられている。日本プラストは県及びホールアース自然学校との連携のもと、当緑地を管理し、自然体験プログラム等を開催する。

主な成果

「はぐくみの森」の自然素材を活用し、2回のイベントを開催。富士宮市民を中心に定員を上回る申し込みがあった。



主な成果

継続して販売＆PRするプログラムとして造成でき、無事に郡山市の観光コンセプトを体現することができた。

会計報告

2023年度は、各拠点において順調に活動が展開され、想定通りの運営をすることができました。企業や行政と連携した新規事業も複数実施することができ、経営的な安定に寄与しました。また、これまで株式会社ホールアースが担ってきた「柏崎・夢の森公園」の指定管理に、今年度からは当法人が関わることになりました。そのため、事業費が大幅に拡大しています。決算は約50万円の黒字。次年度も安定した運営を心がけます。

2023年度 活動計算書(抜粋)		
経常収益	1.受取会費	75,000
	2.受取寄附金	18,110,324
	3.受取助成金等	3,376,537
	4.事業収益	313,553,995
	5.その他収益	2,141,720
経常収益計		337,257,576
経常費用	1.事業費 (1)人件費	174,450,008
	(2)その他経費	132,878,272
	2.管理費	25,153,154
	経常費用計	332,481,434
当期経常増減額		4,776,142
経常外収益		164,600
経常外費用		4,000,000
税引前当期正味財産増減額		940,742
法人税・住民税及び事業税		445,500
当期正味財産増減額		495,242
次期繰越正味財産額		1,154,116

2023年度に実施したその他の事業 (一部抜粋・順不同)

- 富士山「まなびの森」環境学習支援プロジェクト(住友林業株式会社)
- 管理捕獲等担い手育成研修運営業務(静岡県)
- 伊東自然歴史案内人養成講座(静岡県伊東市)
- 森林環境教育指導者養成講座業務(静岡県)
- 森・里・川・海のつながり学習会・実践活動業務(静岡県)
- 「ろうきん森の学校」事業(労働金庫連合会)
- 邑づくりワンストップ窓口(東部地域) 運営業務(静岡県)
- 2023年度「王子の森・自然学校」(王子ホールディングス株式会社)
- 生物多様性センター休日運営管理業務(環境省)
- 環境学習指導員等フォローアップ研修業務(静岡県)
- 南アルプス魅力発信・環境学習サイトコンテンツ制作及び運営業務委託(静岡県)
- 緑の少年団交流集会開催業務(公益財団法人静岡県グリーンバンク)
- ふじのくに生物多様性地域戦略推進パートナーシップ研修会開催業務(静岡県)
- 森の力再生事業魅力発信業務(静岡県)

ごあいさつ

2023年度も、たくさんの皆様の支えをいただきながら、活動を進めることができました。

一年を通して、様々な自然体験プログラムを提供できた一方、夏の猛暑や局所的な豪雨など、野外活動のあり方を再考せざるを得ない気候変動を実感した年でもありました。

また、生物多様性の喪失に関する国際的な意識が高まってきていることも、企業や行政からの問い合わせが急増していることを通して、日々、感じ取っています。

言うまでもなく、ひとつの自然学校だけでできることは限られており、これからも多くの関係者との連携の中で、私たちの役割を発揮していきたいと考えています。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

役員紹介(2024年9月現在)



代表理事
山崎 宏

理 事

浅子 智昭

遠藤 亮



副代表理事
広瀬 麗子

小野 比呂志

小林 政文

角田 周一



副代表理事
大武 圭介

諏訪 さやの

平野 達也

和田 祐樹

従業員数(パート・アルバイトを含む) 55名

活動拠点(2024年9月現在)



富士山本校 [直営]

〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165
TEL 0544-66-0152 FAX 0544-67-0567
WEB <https://wens.gr.jp>



田貫湖ふれあい自然塾 [委託]

〒418-0107 静岡県富士宮市佐折633-14
TEL 0544-54-5410 FAX 0544-54-6400
WEB <http://www.tanuki-ko.gr.jp>



富士市立少年自然の家／丸火自然公園
[指定管理]

〒417-0801 静岡県富士市大淵10847-1
TEL 0545-35-1697 FAX 0545-36-2799
WEB <https://www.fuji-marubi.jp>



がじゅまる自然学校 [直営]

〒905-1143 沖縄県名護市真喜屋845
TEL 0980-58-1852 FAX 0980-58-1852
WEB <http://www.wens.gr.jp/gajumaru>



福島事務所 [直営]

〒963-1633
福島県郡山市湖南町福良字中浜3953-46
TEL 024-984-6411 FAX 024-983-6722
WEB <https://wens.gr.jp/fukushima>



岐阜県立森林文化アカデミー
森林総合教育センター(morinos) [委託]

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88番地
TEL 090-1284-1466 FAX 0575-35-2529
WEB <https://morinos.net>



柏崎・夢の森公園 [指定管理]

〒945-1355
新潟県柏崎市大字軽井川4544-1
TEL 0257-23-5214 FAX 0257-23-5113
WEB <https://yumenomori-park.jp/>



つなラボ [直営]

〒945-1355
新潟県柏崎市大字軽井川4544-1
TEL 0257-47-7293
WEB <https://wens.gr.jp/niigata/>



郡山市少年湖畔の村 [指定管理]

〒963-1413
福島県郡山市湖南町横沢村西112
TEL /FAX 024-982-2115
<https://www.kohannomura.com/>

特定非営利活動法人ホールアース自然学校

〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165

TEL 0544-66-0152 FAX 0544-67-0567

E-mail info@wens.gr.jp

Website



note

